

多文化共生を考えるセミナー ～教室から始まる共生の学び～



秋は、教科教育
冬は、学校文化と多様性のテーマを
予定しています

子どもの可能性をひらく、新しい視点を！

外国ルーツの子どもたちが直面する困難は、日本語の問題だけではありません。

文化、家庭環境、これまでの学びの経験など、一人ひとり異なる背景があります。

本セミナーでは、海外の学校の視点や事例を通して、子どもたちをより深く理解するためのヒントを探ります。子どもの背景を知ること、見える世界が変わります。多様な子どもたちとの関わり方や支え方について、新たな視点を一緒に見つけてみませんか。

スケジュール

テーマ「日本語と子どもの学び」

- 第1回：7/23（木） オリエンテーション・海外から見た日本の学校
鳴門教育大学：日下 智志 准教授，(株)パデコ/中央大学講師：杉山 竜一 氏
- 第2回：7/31（金） 日本語指導が必要な子どもを理解するための基礎知識
鳴門教育大学：岡崎 渉 准教授
- 第3回：8/7（金） 教科の学びと日本語との関係～事例検討を通して～
鳴門教育大学：宮部 真由美 教授

時間

18：00～19：30

*セミナー後に30分間交流タイムを
実施予定(20:00終了予定)

場所

オンライン

※後日希望者にアーカイブ配信予定

参加費

一般：6,000円（税込）

学生：2,000円（税込）

※鳴門教育大学の学生は、担当教員に
ご相談ください



主催：株式会社パデコ
JICA等と協働し海外で教科
書開発・教員研修を実施。
大学講師派遣、市民公開講
座登壇も経験。



協力：鳴門教育大学
文科省事業で多文化対応校の
研修・教材開発を主導。
日本語教育支援や公開講座も
実施。

お申込み
お問合せ



▼WEBフォームまたはQRコードにてお申込みください

<https://peatix.com/event/5062902>



tabunkaseminar-jimukyoku@padeco.co.jp

【主催】株式会社パデコ <https://padeco.education/tabunka2026-summer/>



講師紹介



鳴門教育大学 日下智志准教授



算数・数学教育と国際教育協力を専門とし、開発途上国での教育プロジェクトに長く携わる。JICA事業などでの実務経験を踏まえ、カリキュラム開発や子どもの思考を育む学びについて研究・実践を行っている。



(株)パデコ/中央大学講師 杉山竜一氏



理数科教育やICTを活用した教育開発を専門とし、アフリカやアジアなど多地域で教育プロジェクトの形成・実施に従事してきた国際教育開発の実務家。教員養成やカリキュラム開発、学校運営改善など幅広い分野に取り組み、現場経験に基づく教育協力を展開している。



鳴門教育大学 宮部真由美教授



日本語教育・日本語学を専門とし、日本語支援を必要とする子どもへの教育や「やさしい日本語」の研究に取り組む。教科書の言語的な難しさの分析や学習支援にも携わり、学校現場と連携した実践にも力を入れている。



鳴門教育大学 岡崎渉准教授



日本語教育・社会言語学を専門とし、日本語学習者のスピーチスタイルや社会語用能力の発達を研究。外国にルーツを持つ子どもへの教育や教員研修に携わり、学校現場と連携した指導支援や教材開発などの実践にも取り組んでいる。

新しい気づきが
きっと見つかります



ファシリテーター (株)パデコ 山下さくら氏



元小学校教員。日本語指導や、外国にルーツを持つ子どもへの支援に携わる。現場での経験を活かし、多様な文化的背景をもつ子どもたちへの支援を探究している。

多文化理解



新たな発見



実践へのヒント



外国にルーツを持つ子どもが増える中、学校現場では支援体制や知識不足が課題となっています。本セミナーでは、多文化共生の基礎知識や現場の事例を共有するとともに、グループワークを通して参加者同士で理解を深めていきます。学生、教職員、教育に関わる方々が、外国ルーツの子どもたちへの理解を広げ、実践につなげる機会です。2025年度の開催で好評を得たことを受け、2026年度は内容をさらに充実させ、夏・秋・冬の全9回で実施します。学びと交流の場として、ぜひご参加ください。

お申込み
お問合せ



▼WEBフォームまたはQRコードにてお申込みください

<https://peatix.com/event/5062902>

tabunkaseminar-jimukyoku@padeco.co.jp

【主催】株式会社パデコ <https://padeco.education/tabunka2026-summer/>

